

28年度図書館推進校としての取組

新潟市立白根小学校

I ねらい

- ・28年度新潟市図書館推進校の指定を受け、学校図書館及び図書館教育の充実を図る。
- ・教員と司書との連携がスムーズにいくように体制を整える。
- ・図書を活用する授業を実践し、子どもの活用能力を育成するとともに、活用できる単元や活用しやすい資料を明らかにしていく。実践を年間活用計画に生かす。

II 取組内容

1 計画作成

- ・全体計画の作成
- ・各学年の年間活用計画の作成

2 各学年の実践

- ・各学年で、どの教科・領域、どの単元・活動で、どのような活用ができるか、どのような資料が適しているかを実践を通して明らかにしていく。(各学級1実践以上)
- ・並行読書や調べ学習、探究学習における効果的なやり方、させ方を蓄積していく。
- ・資料提示やワークシートを工夫し、蓄積していく。

3 活動の見直し

(1) 読書センターとして

- ・利用オリエンテーション4月(利用の仕方、学年おすすめの本)
- ・図書の紹介(新刊図書、月ごとのテーマの本、おすすめの本)…司書、図書委員、教職員
- ・「シリーズ読書」の推進、「家読」の推進
- ・読書旬間の実施 11月
- ・司書による読み聞かせ及びブックトーク(朝学習、学級の図書の時間)…司書に依頼
- ・お話会の実施
昼休みお話会年4回、低学年読み聞かせ7月から月1回、縦割り班朝読書:年4回、読書旬間お話会)

(2) 学習・情報センターとして

- ・調べ学習オリエンテーションの計画作成(各学年の必要に応じて適宜実施)
- ・資料収集と資料提供(調べ学習に必要な図書の充実、授業で使いやすい図書資料のリストアップ)
- ・市内図書館との連携
- ・調べ学習についての掲示、ワークシートの常備
- ・情報提供(便りなど)

4 体制作り

- ・司書、図書主任、教員との連携。
図書リクエストカード及び資料活用後の報告書の作成(司書机)
学級の図書の時間等に司書と情報交換をする。(図書資料、図書活用、児童の様子等について)
図書館への要望(司書、図書主任)
- ・公共図書館との連携。(団体貸し出し、オレンジBOX)
必要な場合は司書に連絡し、準備する。

5 図書室の整備

- ・使いやすい図書室…図書室の書架机等の配置換え、ラベル、表示、配架の工夫
- ・展示の工夫…子どもの生活に合った展示、学習に合わせた展示
- ・資料の収集
地域資料、総合学習に関する資料収集
パンフレット、リーフレットの収集とファイリング(校外学習でもらってきた資料など)
- ・計画的な廃棄と購入
調べ学習に役立つ図書の充実
巡回図書やアンケート等による購入
在庫図書のバランスを考えた購入、児童の実態に応じた購入
新刊図書の紹介
古く資料として適切でないものや傷んだ図書の廃棄

6 その他 学級文庫の入れ替え